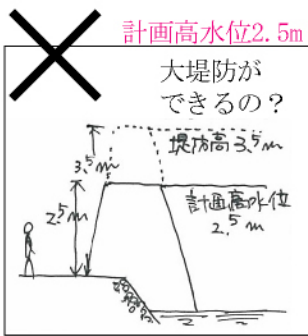


# まちの骨格を検討する上での考え方

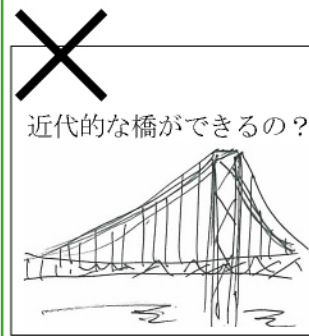
## ① 堤防の高さ

- 計画高水位2.5mはどれくらいの高さでしょう
- 堤防は余裕高も含めて3.5mで計画されています
- 現在の地盤で低いところは1.7m程度です



## ② 松江大橋の架け替え

- 松江大橋の風情はそのままに
- 工事期間の対策も検討していきます
- 第18代松江大橋も、先代からの流れを大切に



## ③ 河岸

- 現況地盤より水面側に親水空間をつくります
- 大橋川の水の流れを感じられる河岸とします
- 水都松江を回遊できる歩行者空間を整備します



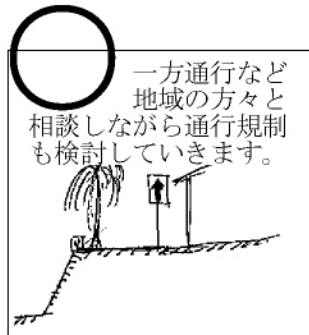
## ④ 歩行者の動線

- まちのスポットを歩行者動線でつなぎます
- 商店街を歩いて移動できる空間をつくります
- 水際を散策できる空間をつくります



## ⑤ 車の動線

- 川沿いの道路と背後地の道路と使い分けます
- 通過交通ではなく、地域のための道路として整備します



## ⑥ 公共施設・公園

- 橋詰め広場の整備を行います
- みんなが利用しやすい公園を整備します
- 松江らしい風情を楽しめる場をつくります

